

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【新玉小学校】

<第1～6学年：ユネスコスクール WEEK>

本校は、2011年にユネスコスクールに認定され、令和6年度で14年目を迎える。18年前に始まったモザンビークとの交流を中心とした国際理解教育が認められたためであり、以降モザンビークへの支援活動、JRC・ESD委員会実施の「届けよう、服のチカラ」プロジェクト「書き損じはがき集め」等、ESDの考え方を大切にした活動を全校体制で行っている。

○ 全学年 テレビ放送

本校のESD等の取組について、児童の関心を高めるために、これまでのモザンビークの方との交流や、JRC・ESD委員会の活動紹介を行った。

○ 1年生 「モザンビークの『衣』って？」

外国の本の読み聞かせを導入として、国旗のジグソーパズルに挑戦したり、伝統的な衣装「カプラナ」を身につけたりしながら、これから交流していくモザンビークへの関心を高めた。

○ 2年生 「モザンビークの『食』って？」

外国の絵本の読み聞かせを導入として、青年海外協力隊の方からモザンビークの食事について教わった。また、同じくらい年齢の子どもが行う水運びを体験し、「頭にのせても重かった。」「水運びは大変だと分かった。」などと感想を伝え合った。

○ 3年生 「モザンビークの『住』って？」

都市部や農村部の建物の紹介を通して、モザンビークの住環境について学習した。プラスチックゴミを自然界に出さないためにエコブリックを作るなど、廃材を使う工夫をしていることを学んだ。

○ 4年生 「交流しよう～モザンビークで働く人～」

モザンビークの現状について教わり、どのような仕事内容があるのか学んだ。青年海外協力隊員として活動していた方と交流し、現地での生活や仕事について質問し、理解を深めた。

○ 5年生 「モザンビークの昔そして今」

バオバブの木の絵本の読み聞かせから始まり、写真を見せていただきながらモザンビークの現状を知り、これからどうすればいいかをゲストティーチャーを交えたグループに分かれて話し合った。

○ 6年生 「交流しよう～新玉小学校との繋がり、そして未来へ～」

今までのモザンビークとの関わりについて振り返り、「続ける」支援の大切さについて考えるとともに、これから自分たちができることを調べ、伝え合った。

